

9月は明石市高齢者福祉月間



みんなで認知症の人を支えるまちへ

65歳以上の高齢者の7人に1人は認知症と言われており、誰もがなりうるものです。市は9月を「明石市高齢者福祉月間」とし、認知症の啓発などの取り組みを行っています。今号では、認知症施策を中心に市の取り組みを紹介します。お問い合わせ／高齢者総合支援室 (TEL)918-5288 (FAX)918-5106)

地域みんなで寄り添い支える

認知症を正しく理解し、地域や職場で応援する「オレンジサポーター」。来月から、より専門的に学ぶ「シルバーサポーター」の講座を開講します。

あなたもオレンジサポーター※になりませんか。

ステップ1

子どもも受講可 オレンジサポーター 市内で約1万3千人が受講済!

- 認知症って?
認知症の人との関わり方
介護している人の気持ちなどを学びます。



オンラインでも受講できます。随時受け付け中。

高齢者総合支援室 (3面上)へお問い合わせを

ステップ2

より専門的に学ぶ シルバーサポーター 明石市オリジナル 10月からスタート

認知症の人の特徴と関わり方などを学び、より専門的に活動する「シルバーサポーター」を市独自に創設。研修後は認知症カフェなどのスタッフとして地域で活動を行います。



募集 中 シルバーサポーター養成講座

日時/10月5日(火) 午後1時30分~4時30分ごろ
場所/ウィズあかし学習室701 (アスピア明石北館7階)

対象/認知症の人を地域で支援する活動がしたい人や、対応などをより詳しく学びたい人

定員/30人 ※応募多数時抽選

ステップ3

令和4年度から 在宅での生活の支援も ゴールドサポーター

さらに来年度は、在宅支援を学び、定期的な訪問などで生活を支援する「ゴールドサポーター」の創設を予定。市民後見人や後見サポーターにステップアップできる仕組み作りも進めています。

申し込み/9月27日(必着)までに、はがきまたはファクシミリ(講座名、住所、氏名、年齢、電話番号、車いすでの参加や手話通訳・要約筆記が必要な場合はその旨を記入)で高齢者総合支援室認知症施策担当(〒673-8686 市役所内)へ

※市では、認知症支援のシンボルカラーであるオレンジにちなみ、「認知症サポーター」を「オレンジサポーター」という名称に変更しました。

気軽にお話しませんか。まずは、お電話ください。

認知症家族会「あった会」

認知症高齢者を介護している家族や経験者が集まり、介護の相談や情報交換を行っています。場所など詳しくは、高齢者総合支援室(上記)まで。日時/毎月第2金曜日 午後1時30分~3時30分

気持ちをしっかり聞いてもらい心が軽く

義母の介護中に、「あった会」の存在を知りました。心身の疲労で電話すると、認知症の介護で疲れた自分の気持ちをしっかり聞いてくれ、心が軽くなりました。今は、次の世代の人にこれまでの経験を還元したいと思い活動しています。気軽に参加してくださいね。



「あった会」会長 三宅 由香さん

若年性認知症の方とその家族の交流会「ひまわりケアサロン」

当事者の人は運動やレクリエーションを楽しみ、家族はお互いの悩みを語り合う場として活動しています。日時/毎月第4土曜日 午前10時~正午 場所/総合福祉センター新館



地域で活動するお二人に話を伺いました

みんなでみんなを支えていこう

地域で役に立つことがあればとの思い、みんなでみんなを支えていこうという思いで活動しています。専門職の人や後見支援センターと協力しながら、本人にとってより良い支援が行えるように活動しています。



市民後見人※ 佐伯 悦子さん

※研修を受けた一般の市民が後見人として、認知症や障害などで判断能力が不十分な人に代わり、財産管理や契約手続きなどを行います。市内では6人の市民後見人が活動中です。

引き続き実施中! 認知症あんしんプロジェクト

認知症に早期に気付き、継続的に支援する取り組みが昨年度から始まりました。認知症診断費用の助成や、認知症サポート給付金の支給、「あかしオレンジ手帳」の交付などを行っています。

「あかしオレンジ手帳」3つの特徴

1 一冊で必要な情報と記録を

受診している病院や介護サービスの利用状況を記録できます。

2 必要な支援につながる

「あかしオレンジ手帳」は市の職員や関係機関がお届けします。その際、直接お話しをして、必要な支援につなげます。

3 継続的な支援で家族もサポート

3つの無料券

3つのサービスを無料で利用できる券を、「あかしオレンジ手帳」と一緒にお届けします。本人がサービスにつながるだけでなく、家族の負担軽減にも。

75歳になったら、市から認知症チェックシートが届きます。75歳未満の人で気になる人には、各市民センターなどでチェックシートを配布しています。

- 早期に気付く 認知症診断費用を全額助成
支援につながる 認知症と診断された人にサポート給付金 2万円
継続的に支援 あかしオレンジ手帳・3つの無料券をお届け



この1冊で 本人・家族・介護サービスが繋がります。

あかしオレンジ弁当券 (20枚)

寄り添い支援 サービス券 (10枚)

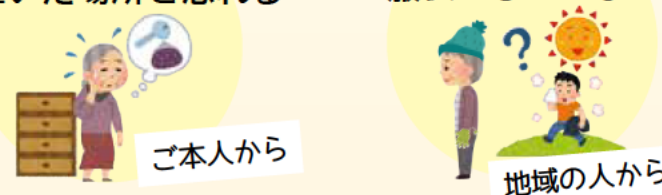
ワクチン接種の同行支援や、買い物やゴミ出しなどにも使えるように、使いやすく

お試しショートステイ券 (1回分)

「もしかして認知症...?」 と思ったら迷わず相談を

こんなことはありませんか?

- 自分の生年月日がわからなくなる
財布や鍵を置いた場所を忘れる
季節にあった服装をしていない



相談には保健師や社会福祉士など専門の職員がお応えします。

平日/午前9時~午後5時40分
TEL 926-2200 FAX 924-9114
場所 総合福祉センター1階(貴崎 1-5-13)
※各地域総合支援センターでも相談できます

こちらをご利用ください New

補聴器の購入費用の助成

聴力が低下し生活に支障が生じている高齢者に補聴器の購入費用の一部を助成します。詳しくは高齢者総合支援室まで。対象/医師が必要と認めた65歳以上の人(所得制限なし) 助成額/上限2万円

小さい音がよく聞こえるようになりました。助成があって助かりました。(96歳)



高齢者の移動を支援

高齢者が安心して外出できるように寿タクシー券の増額を継続しています。※対象者には3月中旬ごろ発送済です

寿タクシー券 増額を継続 4000円分 2000円分

運転免許 返して安心プロジェクト

新たな特典 I COCA が選べるようになりました!

対象/運転免許を返納した65歳以上の市民(令和3年4月1日~令和4年3月31日に返納し、申請した人)
特典/①返納した人(市民)にプレゼント ②返納を勧めた人(市民)に(どちらか1つ) 図書カード1000円分

NEW I COCA3000円分 (デポジット500円含む) または 図書カード 3000円分



お問い合わせ/交通安全課 (TEL)918-5036 (FAX)918-5110